

科目番号		59016	分類	専門科目 臨床看護学	履修者	看護学研究科博士課程		学年		
科目名	がん看護学 (Oncology Nursing)							1		
								配当セクター		
								通年		
担当者	○竹内 朋子 他 1 名				区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概要】 がん看護における最新の動向を多角的に分析し、今日的課題に対して問題解決につながるエビデンスを創出するための研究能力を養う。 【目標】 1. がん看護における今日的課題について、最新の動向にもとづいて説明できる。 2. がん看護における今日的課題を解決するための研究アプローチを提案できる。							○	1. 看護学の継承・発展を図るための研究能力		
							○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力		
								3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力		
							○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
								5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を行うことができる能力		
								6. 実践を行うなかで大学院学生の臨床実習を指導できる能力		
授 業 計 画										
回	内 容									担当教員
第1・2回	がん看護におけるにおける今日的課題に関する研究の動向①									竹内 他 1 名
第3・4回	がん看護における今日的課題を解決するための研究アプローチ①									
第5・6回	がん看護におけるにおける今日的課題に関する研究の動向②									
第7・8回	がん看護における今日的課題を解決するための研究アプローチ②									
第9回	がん政策における今日的課題に関する研究の動向									
第10・11回	がん政策における今日的課題を解決するための研究アプローチ									
第12・13回	がん看護（がん患者家族看護）における今日的課題に関する研究の動向									
第14・15回	がん看護（がん患者家族看護）における今日的課題を解決するための研究アプローチ									
事前・事後学習	事前学習：文献や書籍にて各回のテーマについて把握したうえで、各自の学習ポイントを抽出しておく。また、指定された課題を提出する（評価対象）。 事後学習：文献や書籍、講義資料等から講義内容を復習する。また、指定された課題を提出する（評価対象）。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと									
評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション、課題の成果から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。									
参考図書・資料等	・Michael Tadmán (Ed)：Oxford Handbook of Cancer Nursing (Oxford Univ Pr) ・Marianne Mtzo (Ed)：Palliative Care Nursing (Springer) ・Eduardo Bruera (Ed.)：Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care (CRC Press) その他適宜紹介する。									
備 考	授業はゼミナール形式で行なう。 オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。									